

大分県 ラウンドアバウト シンポジウム

【日時】令和3年3月20日(土)10:30~12:00

【場所】安心院地域複合支所 1階 多目的ホール

【来賓】・大分県議会 議員 尾島 保彦、末宗 秀雄、元吉 俊博
・宇佐市議会 議長 衛藤 博幸 議員 新開 洋一、赤野 道和
・宇佐市教育委員会 教育長 高月 晴彦 ・大分工業高等専門学校 名誉教授 亀野 辰三
・宇佐市自治会連合会 副会長 中原 徹二 ・宇佐両院商工会 会長 川野 克喜
・宇佐市観光協会 安心院部会 部会長 釜口 考
・宇佐市自治会連合会 下毛区長 河野 民則
・安心院中学校 校長 村上 重行 ・宇佐市視覚障がい者協会 佐藤 由香



挨拶



主催者挨拶
大分県土木建築部
審議監 山本 真哉 (部長代理)

ラウンドアバウトを地域のシンボルとして親しんでいただくと共に、多くの方々にラウンドアバウトの理解を深めていただくよう願っております。



共催者挨拶
宇佐市長 是永 修治

中央島には地域の振興、PRを図るためにモニュメントを設置しました。安心院のランドマークとして、宇佐市を訪れる方々が自然と笑顔となり、誰からも愛される交流の拠点となるものと確信しております。

取組報告・情報提供

取組報告

大分県宇佐土木事務所

建設・保全課 主幹 森田 賢一

社会実験を実施し、地域住民等からの意見を踏まえてラウンドアバウトの本格導入を決定しました。中央島のモニュメントと共にラウンドアバウトが地域のシンボルになるのではないかと思います。



情報提供

大分県宇佐警察署

地域交通課長 河野 正直

安心院のラウンドアバウトが、大分県内のラウンドアバウトの見本となるように通行の際には、歩行者が横断する場合は横断歩道の前で一時停止する等の交通ルールを守って下さい。



基調講演「ラウンドアバウトの形態的特徴の活用 ～中央島を地域のシンボルに～」



大分県ラウンドアバウト検討委員会 委員長

大分工業高等専門学校 名誉教授 亀野 辰三

大分県内初のラウンドアバウトは、社会実験により各種データの蓄積が図られたことや、全国初となる中央島のモニュメントデザインのプロポーザルの実施、全国2番目の事例となる交差点名の公募、交通弱者対策への対応などの先駆的な試みを行ったことで、ラウンドアバウトのモデルになる可能性があります。

ラウンドアバウト導入の主要な目的は、交差点内での死亡事故等を無くすことにありますが、安心院の交差点は地域振興を図るという目的もあることから、ラウンドアバウトの形態的特徴である中央島のモニュメントと共に「安心院町の顔」になって、全国への情報発信力を高める役割に大いに期待しています。

交差点名称の発表

ラウンドアバウトが安心院のシンボルとして、多くの人に知られる交差点になることを願って、「安心院小学校の5~6年生の児童」と「安心院中学校の全生徒」から愛称を募集した結果、安心院中学校の1年生が考えた「安心院の輪 (あじむのわ)」が採用されました。この名称には、安心院の人の誇りになってほしい、みんなの心が繋がればよい、事故なく安全に運転してもらいたいといった願いが込められています。

